

自殺予防対策の署名にご協力を！

横須賀市議会議員・無所属
藤野 英明・活動報告19号
2006年5月22日発行

自殺は「防ぐことができる死」です。法制化をめざして5月末まで全国署名中



署名活動に取り組むライフリンクのメンバー
（左）京急線横須賀中央駅前

NPO法人、横須賀などで署名活動

自殺対策基本法（仮称）の制定を政府や国会に求め、特定非営利活動法人（NPO法人）の「自殺対策支援センター・ライフリンク」（清水康之代表）は十三日、横須賀など全国七カ所で一斉に署名活動を実施した。今後、三万人の署名を集め、国に提出するという。

大切な命 もう失わせない

自殺対策法制定を

自殺対策基本法（仮称）の制定を政府や国会に求め、特定非営利活動法人（NPO法人）の「自殺対策支援センター・ライフリンク」（清水康之代表）は十三日、横須賀など全国七カ所で一斉に署名活動を実施した。今後、三万人の署名を集め、国に提出するという。

ライフリンクは、国内の自殺者が

京急線横須賀中央駅前広場（Yデッキ）では、ライフリンクの会員らがチラシを配り、法制化の必要性を呼び掛けた。会員の大塚妃呂子さん（28）は「私も大切な友人を自殺で失

った。国を挙げて自殺対策に取り組む必要があると痛感している。社会的な対策を講じることで自殺を防ぎたい」と話していた。

この日、署名活動が行われたのは、神奈川県（横須賀市）のほか、秋田、東京、京都、大阪、福岡、佐賀。横須賀市が自殺予防のリーフレットを作製・配布するなど積極的な取り組みを実施していることから活動拠点の一
つに選ばれた。

（石曾根剛）

（上：僕たちの署名活動を報道した5月14日・神奈川新聞、右：5月15日日経新聞。マスコミも注目しています）



裏が署名用紙になっています。受け取りに伺いますのでお電話下さい（080-6584-0010、046-824-3162）

与野党議員有志の会

自殺防止で法案 今国会提出日指し大綱

与野党の国会議員でつくる「自殺防止対策を考える議員有志の会」は十五日記者会見し、国全体で自殺防止対策を進めるための「自殺防止対策基本法」（仮称）の大綱を発表し、同法案を今國

会に議員立法で提出する方針を明らかにした。同会メンバーの一人である厚生労働相の尾辻秀久参院議員（自民）は「それぞれの党内手続きを急いで今国会に法案を提出し、ぜひ成立させたい」

今回まとまった基本法案の大綱では、自殺について「個人の問題のみに帰せられるべきものではなく、個人を取り巻く社会にかかる課題」と規定し、「国、地方公共団

体、事業主、国民のそれぞれの責務を明らかにする」と強調。

国に関係閣僚会議の設

置や総合的な対策の指針策定、対策実施状況の年次報告書の国会提出を求め、国や地方公共団体による実態調査や自殺防止の教育・啓発活動、遺族や未亡人の心のケア、民間団体の活動への支援などを要望している。

（全国署名活動の翌日、国会に要請書を提出しましたが、ついに国会議員も動きだしてくれました！）